

平成26年度塩竈学問所講座

名勝「おくのほそ道の風景地—籬が島」指定記念

芭蕉流

## 塩竈の歩き方

■日時 平成27年3月1日(日) 14:00~16:00

■会場 塩竈市ふれあいエスプ塩竈 エスプホール 入場無料

(塩竈市東玉川町9-1 \*JR東北本線「塩釜駅」徒歩1分)



江戸時代の俳人 松尾芭蕉が、弟子の曾良と巡った東北・北陸地方の歌枕の地は、『おくのほそ道』という作品によって、多くの人々に親しまれてきました。

千賀の浦に浮かぶ「籬が島」は、芭蕉が旅した時代の雰囲気は今なお残しており、この度、国の名勝「おくのほそ道の風景地」として指定されました。

芭蕉が眺め旅情を深くした「籬が島」、古の人に思いを馳せた「鹽竈神社」、「野田の玉川」など、『おくのほそ道』の世界から、もう一度まちを見つめ直し、芭蕉を魅了した塩竈の魅力を探ります。

## ①朗読で楽しむ『おくのほそ道』

朗読者：お話びっくり箱

## ②「千賀の浦お散歩隊—籬が島編」上映

## ③トーク「芭蕉と歩く塩竈」

芭蕉と曾良が旅した塩竈を検証し、芭蕉が魅了された塩竈の魅力を探ります。

■佐藤琴さん(山形大学基盤教育院講師・大学附属博物館学芸研究員)

■渡辺誠一郎さん(俳誌「小熊座」編集長)

聞き手：津川登昭さん(チガノウラカゼコミュニティ理事長)

